



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月1日
東

上場会社名 ユナイテッド株式会社

上場取引所

コード番号 2497

URL <https://united.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 早川 与規

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長

(氏名) 山下 優司

(TEL) 03(6821)0000

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	1,959	△58.4	△493	—	△509	—	△394	—
2025年3月期第1四半期	4,711	△34.8	2,922	△45.5	2,898	△46.0	1,929	△47.6

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △475百万円(—%) 2025年3月期第1四半期 △300百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△10.22	—
2025年3月期第1四半期	49.22	49.19

(注) 2026年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	21,075	19,225	88.1
2025年3月期	24,842	21,770	84.7

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 18,562百万円 2025年3月期 21,046百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	24.00	—	24.00	48.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	11.50	—	11.50	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	△16.9	△1,200	—	△1,250	—	△1,400	—	△36.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 一社(社名) — 、除外 1社(社名) (株)ブリューアス

期中における連結範囲の重要な変更に関する注記

当第1四半期連結会計期間において、キラメックス(株)が(株)ブリューアスを吸収合併したことにより、(株)ブリューアスが消滅したため、連結の範囲から除外しております。なお、当吸収合併後企業の名称は(株)ブリューアスになります。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期1Q	40,412,690株	2025年3月期	40,412,690株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	3,058,793株	2025年3月期	1,128,403株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期1Q	38,604,343株	2025年3月期1Q	39,206,701株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

2025年8月1日に機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明動画を配信する予定です。動画中で使用する資料等については、当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(企業結合等関係)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善により緩やかに回復している一方、物価の上昇が続いていることや、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスク、物価上昇の継続による個人消費に及ぼす影響、金融資本市場の変動等の影響、中東・ウクライナ等の情勢など、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループは、パーパス「意志の力を最大化し、社会の善進を加速する。」に基づき、投資事業、教育事業及び人材マッチング事業を、今後の成長をけん引するコア事業として設定しております。そして、コア事業間での連携を強化し、シナジーを創出することで、独自性のある強みを築き、企業価値の最大化を目指してまいります。具体的なコア事業間の取り組みとして、教育事業でデジタル人材を育成し、人材マッチング事業において、育成したデジタル人材と投資事業における投資先スタートアップのマッチングを行うことで、投資先のバリューアップを図ってまいります。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、教育事業、人材マッチング事業及びアドテク・コンテンツ事業で増収となったものの、投資事業で有価証券の売却量が前年同四半期比で減少したことにより、売上高は1,959,563千円(前年同四半期比58.4%減)となり、売上高の減少に加え、(株)ベストコの連結子会社化の影響等により、営業損失は493,866千円(前年同四半期は営業利益2,922,678千円)、経常損失は509,467千円(前年同四半期は経常利益2,898,683千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は394,519千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益1,929,756千円)となりました。

なお、前第3四半期連結会計期間より、教育事業における既存領域の強化を図るため、キラメックス(株)及び(株)ブリュアスを経営統合する取締役会決議を行ったことに伴い、(株)ブリュアスをアドテク・コンテンツ事業から教育事業に変更しております。以下の前年同期比較については、変更後の区分方法により作成しております。

① 投資事業

投資事業は、シード/アーリーステージを中心としたスタートアップ企業への投資を行っております。

当第1四半期連結累計期間は、投資先株式の売却量が前年同四半期比で減少させた影響により、売上高は83,609千円(前年同四半期比97.5%減)、セグメント損失は23,085千円(前年同四半期はセグメント利益3,209,688千円)となりました。

② 教育事業

教育事業は、個別指導学習塾事業を運営する(株)ベストコ及びオンライン教育事業・スマートフォン向けアプリ開発事業を運営する(株)ブリュアスにより構成されております。

当第1四半期連結累計期間は、前第4四半期連結会計期間から(株)ベストコを連結子会社化した影響で、売上高は729,745千円(前年同四半期比126.8%増)となりましたが、(株)ベストコが季節性により第2四半期連結会計期間以降に売上高が伸長し、第1四半期連結会計期間は費用計上が先行することから、セグメント損失は209,461千円(前年同四半期はセグメント損失84,235千円)となりました。

③ 人材マッチング事業

人材マッチング事業は、スカウト送信代行、採用支援等のRPO(採用代行サービス)事業、人材紹介事業を運営するユナイテッド・リクルートメント(株)及びデザイナー特化型マッチング事業を運営する(株)リベイスにより構成されております。

当第1四半期連結累計期間は、人材紹介事業及びデザイナー特化型マッチング事業の拡大により、売上高は187,662千円(前年同四半期比8.3%増)、セグメント損失は18,154千円(前年同四半期はセグメント損失32,077千円)となりました。

④ アドテク・コンテンツ事業

アドテク・コンテンツ事業は、ウェブ広告領域における広告プロダクトの開発・運営や、スマートフォン向けアプリやウェブサイトを通した様々なサービスを提供しており、ユナイテッドマーケティングテクノロジーズ(株)、フォッ

グ(株)及び(株)インターナショナルスポーツマーケティングにより構成されております。

当第1四半期連結累計期間は、フォッグ(株)の主力事業であるオンラインくじの成長により、売上高は961,072千円(前年同四半期比6.4%増)となりましたが、フォッグ(株)における将来的なIPOに向けた先行投資の影響等により、セグメント利益は9,024千円(前年同四半期比88.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ3,766,724千円減少し、21,075,727千円となりました。

主な増減理由は以下のとおりです。

- ・現金及び預金は、剰余金の配当、法人税等の納付、投資事業における新規出資等により、前連結会計年度末に比べ3,771,117千円減少しております。
- ・営業投資有価証券は、投資事業における新規出資及び投資先株式の時価評価等により、前連結会計年度末に比べ245,037千円増加しております。
- ・売掛金は、前連結会計年度末時点の売掛金の回収が進み、前連結会計年度末に比べ204,707千円減少しております。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,222,146千円減少し、1,850,045千円となりました。

主な増減理由は以下のとおりです。

- ・その他流動負債は、事業上の預り金の減少等により、前連結会計年度末に比べ452,985千円減少しております。
- ・未払法人税等は、法人税等の納付等により、前連結会計年度末に比べ431,361千円減少しております。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,544,577千円減少し、19,225,681千円となりました。

主な増減理由は以下のとおりです。

- ・利益剰余金は、主に次の要因により、前連結会計年度末に比べ1,337,342千円減少しております。
 - ・親会社株主に帰属する四半期純損失394,519千円の計上
 - ・剰余金の配当による942,822千円減少
- ・自己株式は、(株)博報堂DYホールディングスとの間の親子上場関係の解消を目的として取得したこと等により、前連結会計年度末に比べ1,129,050千円増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期連結業績予想は、2025年3月期通期決算短信で公表した数値から変更ありません。詳細は2025年5月12日に発表しました「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」をご覧ください。

2026年3月期通期連結業績予想(2025年4月～2026年3月)

売上高	10,000百万円(前連結会計年度比 16.9%減)
営業損失	1,200百万円(前連結会計年度は営業利益2,646百万円)
経常損失	1,250百万円(前連結会計年度は経常利益2,577百万円)
親会社株主に帰属する当期純損失	1,400百万円(前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純利益1,480百万円)

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,611,361	8,840,243
売掛金	1,094,607	889,900
営業投資有価証券	7,702,045	7,947,083
棚卸資産	30,123	37,876
その他	318,584	297,971
貸倒引当金	△14,990	△16,301
流動資産合計	21,741,732	17,996,774
固定資産		
有形固定資産	378,201	379,427
無形固定資産		
のれん	509,293	480,009
その他	343,585	347,427
無形固定資産合計	852,878	827,436
投資その他の資産	1,869,638	1,872,088
固定資産合計	3,100,718	3,078,952
資産合計	24,842,451	21,075,727
負債の部		
流動負債		
買掛金	973,424	712,220
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	61,488	58,088
未払法人税等	464,888	33,526
賞与引当金	37,850	58,296
資産除去債務	9,003	9,006
その他	1,223,910	770,924
流動負債合計	2,870,565	1,742,062
固定負債		
長期借入金	96,521	84,549
資産除去債務	22,273	23,433
繰延税金負債	82,832	-
固定負債合計	201,626	107,982
負債合計	3,072,191	1,850,045
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,923,019	2,923,019
資本剰余金	606,848	606,848
利益剰余金	18,010,430	16,673,088
自己株式	△898,112	△2,027,162
株主資本合計	20,642,184	18,175,792
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	404,420	386,381
その他の包括利益累計額合計	404,420	386,381
新株予約権	127,187	127,187
非支配株主持分	596,467	536,320
純資産合計	21,770,259	19,225,681
負債純資産合計	24,842,451	21,075,727

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	4,711,818	1,959,563
売上原価	983,586	1,358,510
売上総利益	3,728,231	601,052
販売費及び一般管理費	805,553	1,094,918
営業利益又は営業損失(△)	2,922,678	△493,866
営業外収益		
受取利息	8,250	8,299
為替差益	941	-
未払配当金除斥益	848	1,059
その他	3,215	5,309
営業外収益合計	13,255	14,667
営業外費用		
支払利息	518	762
持分法による投資損失	5,141	-
為替差損	-	830
控除対象外消費税等	2,602	6,696
支払奨励金	26,131	19,172
暗号資産評価損	1,462	-
その他	1,394	2,807
営業外費用合計	37,251	30,268
経常利益又は経常損失(△)	2,898,683	△509,467
特別利益		
段階取得に係る差益	492	-
特別利益合計	492	-
特別損失		
事務所移転費用	-	3,284
投資有価証券評価損	50,768	-
特別損失合計	50,768	3,284
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,848,407	△512,752
法人税、住民税及び事業税	930,762	42,471
法人税等調整額	△11,261	△102,091
法人税等合計	919,500	△59,620
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,928,906	△453,132
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△850	△58,613
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,929,756	△394,519

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,928,906	△453,132
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△659,552	△22,229
繰延ヘッジ損益	△1,570,333	-
その他の包括利益合計	△2,229,885	△22,229
四半期包括利益	△300,979	△475,361
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△301,829	△413,913
非支配株主に係る四半期包括利益	850	△61,448

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年5月29日開催の取締役会決議に基づき、2025年5月30日に自己株式1,930千株の取得を行っております。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が1,129,050千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において、自己株式が2,027,162千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	投資事業	教育事業	人材マッチング 事業	アドテク・ コンテンツ事業			
売上高							
顧客との契約 から生じる収益	—	321,422	172,811	903,018	1,397,252	—	1,397,252
その他の収益	3,314,565	—	—	—	3,314,565	—	3,314,565
外部顧客への 売上高	3,314,565	321,422	172,811	903,018	4,711,818	—	4,711,818
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	354	473	—	828	△828	—
計	3,314,565	321,776	173,285	903,018	4,712,646	△828	4,711,818
セグメント利益又は 損失 (△)	3,209,688	△84,235	△32,077	76,387	3,169,762	△247,084	2,922,678

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△247,084千円は、全額各報告セグメントに配分していない全社費用であり、その主なものは、本社の管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	投資事業	教育事業	人材マッチング 事業	アドテク・ コンテンツ事業			
売上高							
顧客との契約 から生じる収益	—	729,706	185,174	961,072	1,875,953	—	1,875,953
その他の収益	83,609	—	—	—	83,609	—	83,609
外部顧客への 売上高	83,609	729,706	185,174	961,072	1,959,563	—	1,959,563
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	38	2,487	—	2,526	△2,526	—
計	83,609	729,745	187,662	961,072	1,962,089	△2,526	1,959,563
セグメント利益又は 損失 (△)	△23,085	△209,461	△18,154	9,024	△241,677	△252,188	△493,866

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△252,188千円は、全額各報告セグメントに配分していない全社費用であり、その主なものは、本社の管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期連結会計期間より、教育事業における既存領域の強化を図るため、キラメックス(株)及び(株)ブリューアスを経営統合する取締役会決議を行ったことに伴い、(株)ブリューアスをアドテク・コンテンツ事業から教育事業に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	35,788千円	48,688千円
のれんの償却額	8,076千円	29,283千円

(企業結合等関係)

共通支配下の取引

連結子会社の吸収合併

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

結合企業（存続会社）

名称： キラメックス㈱

事業内容： オンライン教育事業

被結合企業（消滅会社）

名称： ㈱ブリュアス

事業内容： スマートフォン向けアプリ開発事業

(2) 企業結合日

2025年4月1日

(3) 企業結合の法的形式

キラメックス㈱を存続会社、㈱ブリュアスを消滅会社とする吸収合併

(4) 結合後企業の名称

㈱ブリュアス

(5) その他取引の概要に関する事項

本合併は、両社が保有する経営資源を一体化し提供サービスの価値向上を図ることで、当社グループのコア事業である教育事業における既存領域の強化を目的としております。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。